

# 牛久：学校周辺に見る自然

第64号

ひたち野みずべ公園(ひたち野うしく小)

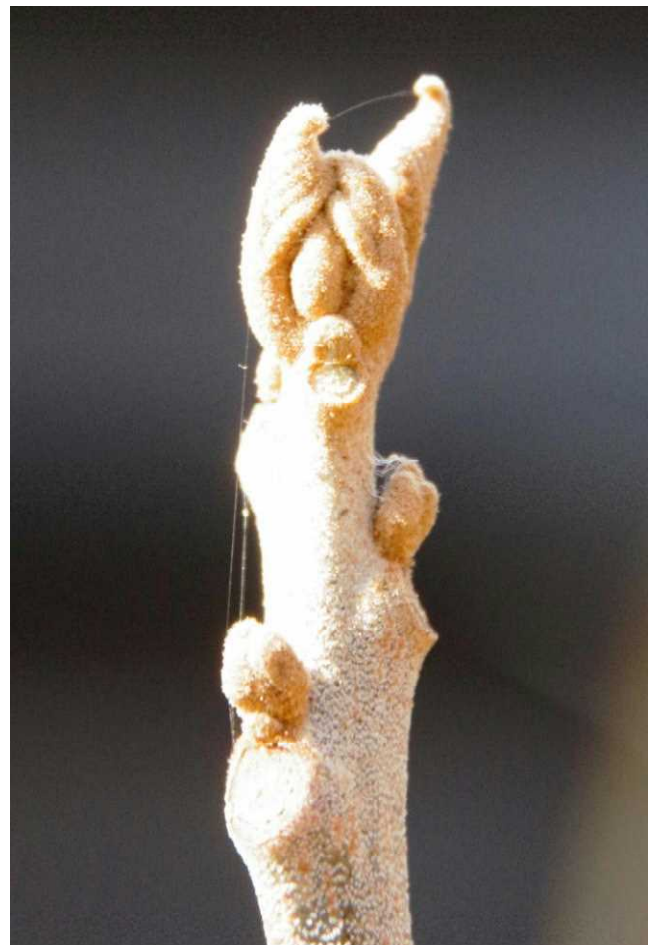
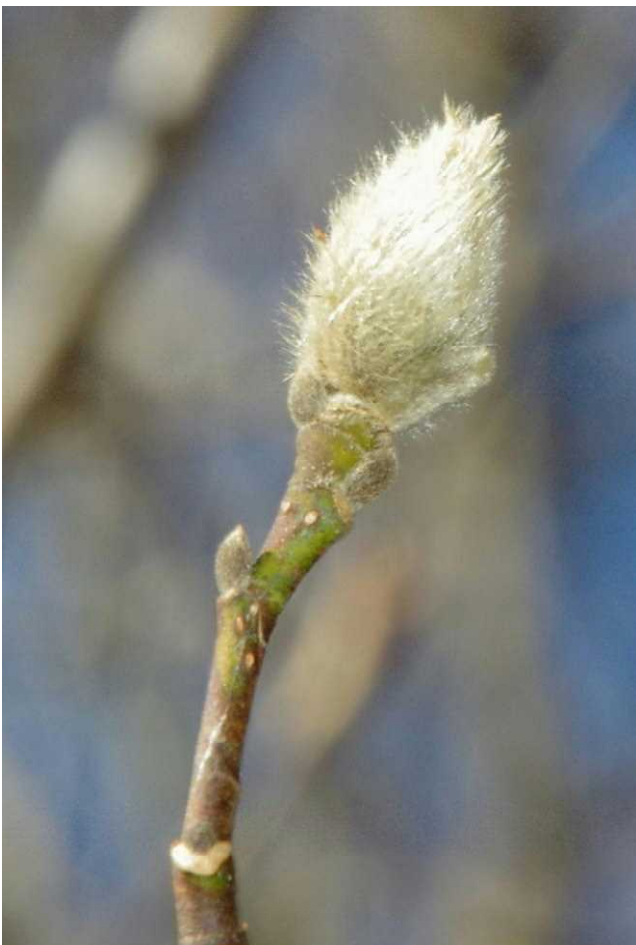
2021年3月17日発行

## < 冬芽とロゼット >

ひたち野うしく小4年生と歩いた、冬のみずべ公園。今回は、樹木の冬芽と雑草のロゼットです。



樹木の冬芽には、コブシのうろこに毛皮みたいな長い毛でおおわれたものや、アラカシのように鱗みたいな小さな葉のようなものをたくさん重ね着したもの、アカメガシワのように短い毛がびっしりの小さな葉(葉の脈もわかる)に包まれたものなどいくつかのタイプがあることを話しました。いくつか見つかったでしょう? 大きさも形もそれぞれでしたね。中には花や葉、茎の赤ちゃんがぎっしりつまっています。芽吹きのようにも観察してみたいですね。



うろこに似たたくさんの小さな葉のようなものに包まれたアラカシの冬芽(上)。毛皮のようなものに包まれた大きなコブシの花芽(左下: 小さいのは葉芽)。短い毛がびっしり生えた小さな葉に包まれたアカメガシワの冬芽(右下)。



一方、地面に目をやると、タンポポ  
やスイバ、ギシギシ、ナズナなどがべ  
たっと葉を<sup>は</sup>広げています。放射状に<sup>ほうしやじょう</sup>広  
がる<sup>すがた</sup>姿がバラの花に似ていることから  
ロゼットとよばれますが、お日さまの光  
をたくさん受けられ、冷たい風を受けに  
くくなっているようです。動けない植物  
にも、<sup>きび</sup>厳しい冬を<sup>こ</sup>乗り越えるためのいろ  
いろな工夫<sup>くふう</sup>が見られますね。

【理科支援員：宮内】

タンポポのロゼット（上）。

スイバのロゼット（中）。

ギシギシのロゼット（左下）。

セイタカアワダチソウの冬越し<sup>ふゆご</sup>（右下）。

